

あぐい

第158号

平成25年7月15日発行

議会だより



彼岸花ボランティア



2P 主な議決内容



4P 議長就任あいさつ



6P 常任委員会レポート



7P 一般質問



16P 学校紹介「阿久比中学校」

平成25年 第2回定例会

否決

阿久比町一般職の職員の
給与の特例に関する条例の制定

反対討論

杉野 明議員

各市町のラスパイレ
指数に開きがあり、国
からの削減要請は地方自治
の根幹を揺るがす。

雇用者報酬に影響を与
える公務員の給与引き下
げは、更なる不景気を助
長する。

今こそ巨大企業の内部
留保資金の数%を雇用者
に還元し、消費マインド
を上げるべき。

賛成討論

三留 享議員

次の観点からやむを得
ないと思う。

①東日本大震災の復興財
源として国家公務員も実
施している。

②本町は地方交付税を受
けている自治体である。

③民間の給与所得者の心

情に配慮すべきである。
④職員の士気が下がるこ
とはないと信ずる。

反対討論

沢田 栄治議員

国家公務員の給与が臨
時特例措置で減額され
たための要請であるが、町
として今まで行革、職員
数削減、人件費の抑制に
取り組んできた。町のラ
スパイレ指数が、10
2・3となったが、減額
前は94・4であり、知多
5町でも最も低い状況で
ある。

また地方分権、地域主
権が叫ばれている中、地
域の実情に応じて決定す
べきと考える。

諮問

人権擁護委員の任命（再任）



関 政雄氏（草木）
法務大臣へ推薦することになりました。

議案等

◎ 全員賛成可決
○ 賛成多数可決
× 否決

議案

× 阿久比町一般職の職
員の給与の特例に関
する条例の制定

【賛成2名 反対13名】

× 阿久比町特別職の職
員及び教育長の給与
の特例に関する条例
の制定

【賛成7名 反対8名】

◎ 平成25年度阿久比町
一般会計補正予算

◎ 備品購入契約の締結
〔学校給食用食器洗浄
機等〕

諮問

◎ 人権擁護委員の推薦
につき意見を求める
こと

報告

・ 平成24年度阿久比町
一般会計予算繰越明
許費繰越計算書

・ 平成24年度阿久比町
水道事業会計継続費
繰越計算書

※報告は賛否を取らない。

請願

◎ 南部学区通学路安全
確保の取り組みの請
願

◎ 通称半田環状線（都
市計画道路環状線）
の建設早期促進取り
組みの請願

◎ 都市計画道路、矢高
横川線の建設促進取
り組みの請願

【賛成13名 反対2名】

◎ 阿久比・矢高土地改
良事業推進を求める
請願

【賛成13名 反対2名】

請 願

採 択

南部学区通学路安全確保
取り組みの請願

請願代表者 新海 正信
紹介議員 澤田 道孝

趣 旨

矢高字高岡北から梶明^{かじめ}
を経て南部小学校に至る
児童通学路安全確保を。

採 択

通称半田環状線（都市計
画道路環状線）の建設促
進取り組みの請願

請願代表者 新海 正信
紹介議員 澤田 道孝

趣 旨

通称半田環状線（都市
計画道路環状線）阿久比
町地内未施工部分の早期
着手開通への取り組み推
進を。

賛成討論

三留 享議員

現在の行政並びに議会
の責務は、当面の住民サ
ービスのみならず、若者
の雇用創出や福祉・教育
等の財源として、安定し
た税収の対策を考えるこ
とである。

内陸部に位置する本町
にとって、道路網の整備
は、将来の発展の死命を
制すると言える。

採 択

都市計画道路、矢高横川
線の建設促進取り組みの
請願

請願代表者 新海 正信
紹介議員 勝山 制

趣 旨

都市計画道路矢高横川
線の事業取り上げのため
の取り組みを。

反対討論

辻 忠男議員

都市計画道路の建設促
進や土地改良そのものに
反対ではないが、土地改
良などの問題は、地権者
全体の意志と、その地域
住民全体の合意が特に大
切である。

しかし、この請願はそ
ういう努力や経過への理
解や配慮がなく、地元
の合意以前に、議会や町に
結論を急がせることは、
逆に妨げになると考える。

採 択

阿久比・矢高地区土地改
良事業推進を求める請願

請願代表者 新海 正信
紹介議員 澤田 道孝

趣 旨

阿久比・矢高地区土地
改良事業の推進に伴う準
備委員会への指導及び支
援を。

反対討論

杉野 明議員

一概に土地改良事業が
すべて反対ではない。
地権者の意見集約が最
も大事である。

土地改良事業の事業計
画の内容が明確でなく、
準備委員会も開催されて
いない中での請願提出は、
事業に混乱を招く。

今やるべきことは誰も
が納得できる事業の詳細
な内容に関係機関と話し
合い、地権者の合意形成
を図ることではないか。

陳 情

◇最低賃金の引き上げ、
公契約条例の制定な
ど働く者の権利を守り、
公務・公共サービス
の充実、憲法擁護・
核兵器のない世界を
求める陳情書

◇違法な臓器生体移植
を禁じることを求め
る陳情書

ぜひ議会への傍聴を!!
次の定例会は
9月5日(木)から
開催予定です。



新体制で スタート

平成25年5月10日に、平成25年阿久比町議会第2回臨時会を開催し、議長・副議長・監査委員を選任し、2常任委員等々の議会構成を決めました。

議長 大村 文俊
副議長 渡辺 功
監査委員 勝山 制

議長就任あいさつ

住み続けたいと言える町に



議長

大村 文俊

町民の皆様には、平素より町政並びに町議会に対し、格別のご高配を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

私は、去る5月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長に就任しました。誠に光栄の極みであると同時に、その使命と職責の重さに身が引き締まる思いでございます。

さて、国では昨年末に政権を交代してアベノミクス（経済政策）を掲げ、日本を取り戻すため努力しています。

私たちは地方議会も地方の時代と言われ、議会は、自治体競争に勝ち抜く積極的な政策立案能力の必要性を求められています。阿久比町議会は、住民のニーズに応えられるように鋭意努力し、住民の

皆様のご支援をいただけますよう、議論を重ねてまいります。

自分たちの町を、自分たちの力で住み続けたいと言える町にしていきたいです。

結びにあたり、町民の皆様のご多幸をご祈念申し上げますとともに、ご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

議案等

◎ 全員賛成可決
○ 賛成多数可決
× 否決

承認

◎ 専決処分の承認を求めること（阿久比町税条例の一部を改正する条例）

◎ 専決処分の承認を求める（阿久比町都市計画税条例の一部を改正する条例）

◎ 専決処分の承認を求める（阿久比町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

同意案

◎ 監査委員の選任

新しい委員会の構成

(◎印は委員長、○印は副委員長)

文教厚生委員会



二井登喜男 渡辺 功
久保 秋男 ◎都築 重信
勝山 制 ○山本 和俊
辻 忠男 鈴木 一夫

総務建設委員会



渡辺 和幸 大村 文俊
澤田 道孝 ◎竹内 一美
杉野 明 ○沢田 栄治
三留 享 新美 秀夫

政治倫理審査会



辻 忠男 渡辺 和幸
◎久保 秋男
勝山 制 ○新美 秀夫
三留 享

議会だより編集特別委員会



竹内 一美 ◎渡辺 功
都築 重信 ○山本 和俊
沢田 栄治

議会運営委員会



◎久保 秋男 竹内 一美
◎新美 秀夫 都築 重信
杉野 明 鈴木 一夫

知多地区農業共済 事務組合議会議員

沢田 栄治 大村 文俊

知多中部広域 事務組合議会議員

鈴木 一夫 竹内 一美 大村 文俊

東部知多衛生組合 議会議員

渡辺 功 竹内 一美 大村 文俊

常任委員会レポート

総務建設

職員給与減額否決

当委員会に付託された3議案、3請願を審議した。

「一般職の給与の特例に関する条例の制定」と「特別職及び教育長の特例に関する条例の制定」は、

国家公務員の臨時特例に関する法律に基づき給与が減額されたため、市町村にも減額の要請があり、提案したとの説明があった。

紹介議員より説明を受け、質疑を行った。
「平田環状線」の請願は、早く完成させるべきとの意見があった。

討論があつた。
採決の結果、給与の特例条例（一般職及び特別職）の2議案は賛成少数で否決、補正予算は全員賛成で可決となつた。
請願は、全員賛成の採択が1件、賛成多数の採択が2件となつた。

（沢田栄治議員）

知多5町ラスパイレース指数

	平成24年(参考値※1)
阿久比町	102.3 (94.4)
東浦町	106.1 (98.0)
南知多町	103.3 (95.4)
美浜町	104.0 (96.0)
武豊町	105.2 (97.2)

ラスパイレース指数：国家公務員の給与を100として算出した数値。

参考値※1：国家公務員が給与減額を行わなかった場合の数値。



東部小学校



南部学区通学路

文教厚生

東部小学校校舎増築設計

当委員会に付託された1議案及び1請願を審議した。

平成25年度一般会計補正予算の主なものは、東部小学校校舎工事設計委託料に係るものであり、東部学区の児童

数増加への対応で、12教室増築するためである。委員会での審議の結果、原案のとおり可決した。

が一般的であるが、本請願により地域・学校・教育委員会へ波紋が広がることも考えられる等の協議を経て採択するものと決した。

（山本和俊議員）



辻 忠男 議員

福住交差点以北の建設促進

県に要望している

問 工事開始時期の見通しは。

答 県は、都市計画道路知多刈谷線以北の都市計画道路名古屋半田線の整備を重点的に進めているので、その区間の整備状況や周辺の交通状況等を勘案しながら検討すること。

問 阿久比側からの工事の要望をしているか。

答 阿久比町内は、家屋移転の可能性が少ないので、本町から工事を開始して頂けるよう要望している。

問 県への要望活動は、いつ、どこへ、何回か。

答 平成19年より愛知県建設部、知多建設事務所へ通算12回。

問 県からの回答は。

答 東海市、東浦町に目途が付き次第町内の整備に入ること。

今年度から本町の道路用地の一部を買収したい旨の話があった。

問 福住信号北西角の危険性は。

答 福住信号北西角のコンビ二東出入口には、ゼブラ表示がしてあるが、より安全性の確保のため半田警察署の現地指導により対応する。

問 高根台、白沢駅への危険性（狭あい道路・樹木枝の剪定）は。

答 高根台から白沢駅への道の樹木の伐採は、土地の所有者に依頼している。

問 高根台南入口から東ヶ丘交差点までの危険性は。

答 町内の道路に関しては、危険性がある道路とは考えていないが、東ヶ丘交差点は、本町の住民から交通安全の要望がある旨を東浦町へ連絡する。

問 巽ヶ丘駅北踏切の拡張は。

答 名古屋鉄道（株）には、機会あるごとに要望する。

横松から野崎交差点は

早期事業化を要望

問 工事開始時期の見通しは。

答 県からは、明確な返事をもらっていない。

問 県への要望活動は、いつ、どこへ、何回か。

答 平成12年頃より愛知県建設部、知多建設事務所へ通算26回。

問 県側の対応者は誰か。

答 愛知県建設部長と道路建設課長。

問 県への要望内容は。

答 この道路の延伸により阿久比側から名鉄河和線に係る東西の交通量の緩和が図れるため、早期事業化を要望するとの内容である。

問 県からの回答は。

答 阿久比町の意見を尊重して行きたいとのこと。

問 野崎交差点の交差方法。

答 野崎交差点の交差方法は、平面交差を考慮しているとのこと。

阿久比町の教育

充実を図る

問 新教育長の阿久比町の教育についての抱負は。

答 子どもたちは阿久比町の宝である。

幼保小中一貫教育や「教室はまちがうところだ」、「凡事徹底」を大切にしていこう。

問 いじめ、体罰のない学校教育について。

答 国・県からの通知の周知徹底を図り、指導を重ねている。

幼保小中一貫教育を着実に推進し、さらなる充実を図る。

組織で対応する開かれた指導を行う。

問 前教育長の「体罰があったかどうか調査する」との回答について、結果の公表を。

答 平成23年度中の放課後、学校外の出来事において「行き過ぎた指導があった」と報告を受けた。

愛知県の福祉医療費削減

強く現状維持を望む



杉野 明 議員

問 知事の「公約」である減税をし、その一方で県民に負担増を図ることは本末転倒。
特に、子ども医療費などの制度を拡充してきた市町の福祉向上の施策に「逆行」するものである。

問 県の見直し案は。

答 県が示した3案は、患者の一部負担金を平成26年度から、所得制限を平成29年度から導入するものである。

問 見直し案に対する町の意見は。

答 制度の後退は考えられず、強く現状維持を望む。

問 見直し案の本町の影響は。

答 福祉医療の合計は、県の見直しで
(案1) 1820万円
(案2) 2980万円
(案3) 1550万円
の医療費が抑制される。

問 県に対して、見直ししないように要望していく必要があると思うが。

答 現行制度の維持、子ども医療費助成制度の拡充を常に要望している。

生活保護費削減

改正で廃止になる世帯はない

生活扶養基準引き下げにより、3年かけて総額740億円の生活扶養費の削減計画が今年8月より実施される。

問 基準引き下げによる他の制度への影響、それぞれの事業名と影響額は。

答 基準改正で生活保護廃止になる世帯はない。

仮に非課税限度額の見直しがあり、所得区分が変更になると、下表のような影響がある。
同様に高額介護サービス費や保育料等にも影響がある。

国保加入者の場合

区分	事業名	影響額
70歳未満	高額療養費	+44,700円
70歳以上 75歳未満	住民税非課税 外 来	+4,000円
	低所得者Ⅰ(※1) 外来+入院	+29,400円
	低所得者Ⅱ(※2) 外来+入院	+19,800円

※1：同一世帯の世帯主及び国保被保険者が住民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除(年金の所得の場合は控除額を80万円として計算)を差し引いた時に0円となる人。
※2：同一世帯の世帯主及び国保被保険者が住民税非課税の人(低所得者Ⅰを除く)。

問 町として現行制度を維持の考えは。

答 近隣市町の動向に注視し、慎重に検討していく。

問 準要保護者に対する就学援助等の地方単独事業については、それぞれの自治体の単独事業となるが、これらの事業が後退することはないか。

答 児童扶養手当の所得制限を準用のため、影響はない。

診察



注射後



保健センターで行われるBCG予防接種の様子

風疹予防接種の補助

7月から実施

全国で風疹予防接種の補助をする自治体が増え、愛知でも県、名古屋市に続き大府市等も補助の方針が出されている。

問 阿久比町で実施する考えはあるか。

答 風疹予防接種の補助については、6月中に要綱を作成し、7月から実施したいと考える。

問 実施する場合、支援の内容により対象者は異なるが、予算額はいくらか。

答 対象者は、妊娠を予定又は希望している女性及びその夫で、400人を見込み、県と町で2500円ずつ負担した場合、事業費は2000万円、町の負担分は100万円になる。



鈴木 一夫 議員

サイクリングロードの現状と今後の予定

宮津橋付近まで概ね5年

いよいよ阿久比川堤防にサイクリングロードの建設が始まった。

問 全体の計画区間と延長は。

答 武豊町字嶋田を起点とし、大府市吉田町を終点とする総延長30・1kmの道路。

問 すでに供用開始の区間と延長は。

答 起点から阿久比町植大の高田橋の区間や主要地方道西尾知多線の区間を始め、20・4kmの区間が供用している。

問 今年度の本町に関係する区間は。

答 現在、阿久比川右岸で島田橋から上流約500mを工事している。

また、今年度、前田川に架かる予定の予備設計などを行う。

問 今後の予定区間と計画年次は。

答 現在、阿久比川右岸で島田橋から主要地方道名古屋半田線の宮津橋付近まで概略設計が済んでおり、ここまですべてを概ね5年程度を予定している。

問 維持管理はどの程度誰が行うのか。

答 維持管理は、愛知県が行う。現在は年1回の草刈りを行っている。

問 町民に親しんで利用される工夫は。

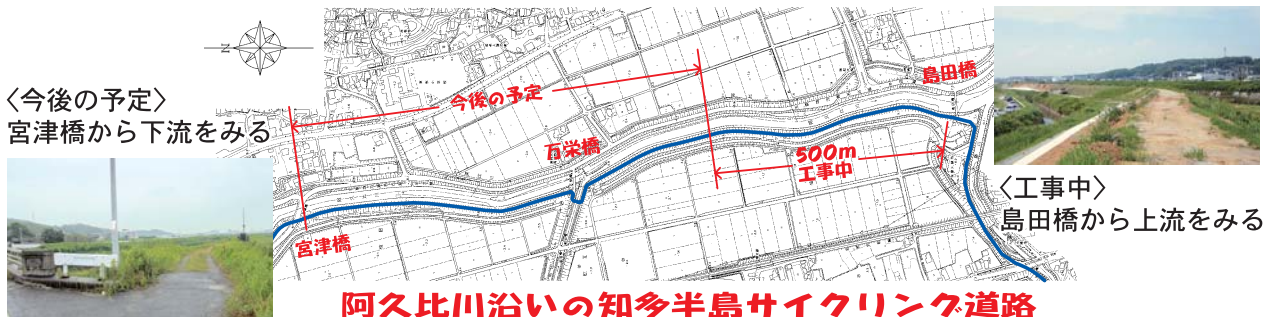
答 サイクリングロード自体の存在をPRし、ホームページによる情報発信や県発行のリーフレットに阿久比町の観光資源の写真掲載を要望する。

問 安全対策・防犯対策は万全か。

答 有効幅員を3m確保し河川堤防利用区間では堤内側に転落防止柵が設置してある。照明灯は、交差する道路がある時以外は基本的に設置しない。

問 今後の問題点、課題は。

答 整備の完了年次が未定となっている宮津橋上流部から主要地方道西尾知多線までの区間の早期完成を県に要望し、解決したい。



阿久比川沿いの知多半島サイクリング道路

教育長の基本方針と抱負

凡事徹底を大切に

問 教育長の教育に関する基本的な考えは。

答 幼保小中一貫教育を推進し、自律できる力、生きる力を身に付けた生徒を目指す。

問 平成17年度からスタートした「幼保小中一貫教育プロジェクト」で今後見直す点があるとすれば、どのようなことか。

答 保護者・家庭・地域に情報を発信し参画を広げていく。

問 中学校ですでにエアカンが設置された。今後小学校にも順次設置されるが、その方針方向はどのように考えているか。

答 南部小学校、東部小学校に、その後は草木・英比小学校に予定している。

問 10月31日に一貫教育の全国発表会が開催されるが、どのような内容か。

答 園児・児童・生徒の授業・保育の公開と各部会の説明、講演等を行う。

問 教育長は「教室は間違っているところである」と言われているが、具体的な内容は。

答 学校・学級は安心して生活できる場所ではなくてはならない。

問 その他全体として考えていることは。

答 凡事徹底を大切にしたい。

産業振興の取り組み

土地改良で工業用地を確保



都築 重信 議員

問 町内の企業について、回復の兆しが見えるが、工業の振興にどのような施策が必要と考えるか。

答 町内の工業用地はすべて企業の立地済となったので、宮津と阿久比・矢高の土地改良事業の中で工業用地の確保を図りたい。

また、既存の企業との意見交換を密にして、新規の企業誘致や企業流出の防止を図る。

問 商業の振興について、町内にある商店が減ってきている。

身近な場所で買い物ができることは、非常に大事である。

商店が成り立つような方策を町は考えているか。

答 本町の商業振興施策は、商業者の組織力と連携強化を図ることにより、消費者から見て魅力的な商店経営に努めることや、住民の高齢化により増加する「買い物弱者」に対応する商店経営に努めることを考えている。

問 農業の振興について、阿久比で作られている多種類の農産物。町内の方によく知られず、町外へ出荷されていく。

町内外の方々が喜んで買っていただけのような場所の確保はできないか。

答 J Aや小売店との協力体制の整備により、直売施設及び小売体制の充実を図るほか、販売力のある農業者、農業法人の育成や農業の六次産業化を進める。



土地改良事業で誘致した企業

町行事のPR

積極的に情報提供

60周年事業、住民税1%町民予算枠事業。本年度はたくさん町行事が計画されている。

阿久比町の発展につながるよう、これらをうまくPRできないか。

問 新聞の知多版に、特集コーナーを作ってもらってはどうか。

また、行事予定と行事報告を記事として掲載できないか。

答 新聞社からは「特集コーナーに限らず記事の掲載は、新聞社側の判断により住民情報として必要と判断すれば掲載する。」との回答だった。

今後も引き続き、記事が掲載されるよう行事予定、行事報告等について積極的にマスコミ、新聞社等へ情報提供を行っていく。

また町広報やホームページ、電光掲示板には、最新の情報を掲載していく。

問 出展された写真を利用して、来年度のカレンダーを作ってはどうか。

答 「煌く未来へつなぐ阿久比の景観60選」をテーマにしたカレンダー作りは、現時点では考えていない。

問 行事に関連した数量限定バッジを作っては。

答 数量限定のピンバッジの製作には相当の費用が必要となるため、それぞれの事業主体が判断していただくことになる。

災害時協力

井戸の活用

生活用水として利用

問 災害時協力井戸の数は。今後の利用方法を考えておく必要があると思うが町の考えは。

答 横松をはじめ、15地区に342基ある。

地震発生時に町内の方々に、生活用水として、活用していただく。





澤田 道孝 議員

道路の安全対策・建設促進

県に要望している

問 南部学区通学路安全対策の要望に対する対応は。

答 南部学区通学路安全対策の要望の内、梶明北の県道から南部小学校にかけての通学路には、道路拡幅や緑色のペイントによる歩道となっている。一旦停止線は、半田警察へ要望している。

問 通称半田環状線（都市計画道路環状線）の早期建設について、実施時期、建設方法の進捗状況は。

答 都市計画道路環状線は、道路整備の早期事業化を愛知県に要望している。

要望内容は、半田・阿久比地内の都市計画道路の延伸により、阿久比側から名鉄河和線に係る東西の交通の円滑化が図れるため。

問 都市計画道路矢高横川線と阿久比・矢高土地改良事業及び宮津土地改良事業の実施時期と愛知県との取り組みは。

答 都市計画道路矢高横川線は、道路整備の早期事業化を愛知県に要望している。

要望内容は、この都市計画道路の延伸により、県道南粕谷半田線の交通の緩和が図られ、半田市・常滑市への交通がスムーズになるため。

問 阿久比・矢高土地改良事業は進展していない。今後の取り組みは。

答 土地改良事業の事業区域や整備計画、営農計画などの検討が進んでいないので、役員会・準備委員会に説明し、地区の問題点や準備委員会の検討項目を整理して、地主説明会が開催できるようにする。



建設が待たれる半田環状線（横松側から）

ホタル事業とサミット

自然を活用し、意義深い

問 ほたるサミットの現状は。

答 ほたるサミットは、平成元年から毎年開催されており、本町では、平成6年、15年、22年の3回サミットを開催している。

また、サミット会員による「災害時の相互応援に関する基本協定書」を交わし、相互支援ができるようにしている。

問 今議会中に町長と議長が北九州市ほたるサミットに参加することについて、いかが考えているか伺う。

答 今議会中の町長と議長が北九州市ほたるサミットに参加したことは、「未来へつなごう ほたるの輝く風景を」をテーマに「日本一のほたるの里」を目指す指導者が一堂に会し、ホタルの保護

ほたるの幼虫観察会	4月18日・19日
ホタル生息分布調査	6月26日～28日
	7月3日～5日
ほたるポスター作品展	6月8日～23日
ほたる観察会	6月21日・22日

問 本町のホタル事業の取り組みは。

答 次のとおり。

子ども読書活動推進計画

読書離れ解消に取り組む



三留 享 議員



読書を楽しむ南部小児童



問 去る4月「阿久比町子ども読書活動推進計画」が各戸配布された。読書が子どもの成長に不可欠なものであるため、地域特性を考慮した諸施策の推進が求められたものである。

問 本町児童生徒の読書の状況とその評価。

答 全国平均と比べ読書量は多いとは言えない。

高学年になるほど読書量は減少しているなか、読書離れ・活字離れの解消に取り組んでいる。

問 学校の読書環境の整備状況。

答 蔵書数は文部科学省が示す冊数をほぼ満たしている。

配架の工夫や本を身近に置く取り組みをしている。

問 町立図書館の利用状況と運営の評価。

答 貸出人数・貸出冊数は増加傾向と捉えている。

問 町立図書館の優れている点、改善したい点。

答 静かに読書・学習ができるよう樹木の剪定・採光通風に心がけている。

英比保育園運用後の評価

検討課題もある

4月にスタートした英比保育園は、定員260名の大規模保育園である。職員や保護者など関係者の努力によりスムーズに移行したように思われるが。

問 開園前の計画を変更した点は。

答 一時預かり事業を多目的室で予定していたが、この部屋を今後の児童数増加に対応するための保育室として利用することを考え、実施に至らなかった。

問 保護者から次の設備改善要望がある。

- ①園東部側溝の歩道化
- ②園庭周囲への防風対策
- ③遊具、芝生化など園庭の整備



英比保育園

答 ①徒歩での園児の送迎には、英比小学校の運動場を通り、南出入口を利用していた。

②今年度中に園庭西側に風除けのための植栽を行う。

③今後調査・研究を行う。

問 北原保育園園庭の近隣児童への開放を。

答 施設へのいたずらや防犯上の問題もあり、今後の検討課題とする。



二井登喜男 議員

女性の立場で防災を 訓練参加から願います

内閣府では、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」（案）をまとめ、女性の立場からの防災計画を強化されたと聞いている。
そこで以下4点伺う。

問 この指針（案）の内容を把握しているか。

答 過去の災害対応における経験を基に、男女共同参画の視点から予防、応急、復旧等の各段階において地方公共団体が取り組むべき基本的事項を示すものと把握している。

問 町としての受け止め方及び注目点は。

答 この指針は、東日本大震災の教訓を踏まえ、あらゆる災害に活用できるものと受け止めている。防災・復興の「主体的な担い手」として女性を位置付ける必要があると明記した点が注目点である。

問 防災訓練への反映を考えているか。

答 地区毎の訓練において企画段階から女性の参加をお願いする。

問 防災会議に複数の女性の登用は。

答 防災会議委員として新たに女性を一名登用した。

女性議会はどうなのか

町政への参画を

町制60周年記念事業の一つとして、「女性議会」が6月に開催。

普段はあまり聞く機会の少ない、「女性から」の、「女性ならではの」意見に耳を傾け、町行政に役立てるべきと考える。
以下3点伺う。

問 「女性議員」の選出方法は。

答 あぐい女性の会から、やりたい事業の提案を受け60周年記念事業として実施。

女性議員は、あぐい女性の会の所属10団体各2名と会長の合計21名。

問 一般質問は、何かテーマを決めたか。

答 女性の観点から日々の活動や生活で感じている、防犯対策、環境美化、食育など6名から質問や提言をもらう。

問 今後、「女性議会」を行う考えはあるか。

答 もっと町政に関心を持つていただき、町から与えられた機会ではなく積極的に町政に参画していただきたい。



6月27日に開催された女性議会

庁内の危機管理体制

災害対策本部を組織



久保 秋男 議員

地震など災害発生時の情報収集や伝達体制を強化し、町民の生命・財産を守ることは、行政の使命である。

問 庁内の危機管理体制の現状は。

答 町長を本部長とした災害対策本部を組織し、災害応急対策を推進している。



全国瞬時警報システム(Jアラート)の受信装置

問 危機管理体制は24時間化となっているか。

また、危機管理専門の職員として24時間配置している。

答 阿久比町地域防災計画を基に作成した平成25年度版災害対策実施マニュアルにて、非常配備区分毎に配備すべき職員を定めている。

危機管理専門職員を24時間配備していないが、宿日直者からの連絡を受け、防災交通課職員がまです登庁するように定めている。

宮津保育園入口の交通安全対策

カラー舗装を施工

宮津保育園入口交差点は、朝の時間帯では全園児の半数以上と保護者の方

が信号の無い交差点を横断し、通園している。保育園や保護者の力だけでは安全確保は難しい

複雑な変則交差点である。特に、この交差点までの道路は坂道となっている

ことからスピードも出やすい環境にある。また、この交差点には他地域からの近道として利用する車両が年々多くなり、危険な状態が日常化となっている。

さらには、陽なたの丘の住宅販売計画では、現戸数の倍以上を計画されていることから、交通安全対策は喫緊の課題である。

問 安全確保の考えと今後の課題は。

答 宮津保育園入口交差点の安全確保のため、今年度にカラー舗装を施工する。

問 交通誘導員の配置は。

答 宮津保育園前まで移動範囲を広げ交通指導をする。



カラー舗装された英比保育園前の道路



カラー舗装される宮津保育園前入口



勝山 制 議員

「人・農地プラン」の内容

基本方針は地域の特性

昨年12月に決定された、「人・農地プラン」概要版について伺う。

問 検討会、地域・集落の会への出席依頼者数と出席者数は。(各学区)

答 「人・農地プラン」に係る地域の話し合いには、認定農業者や各農業者団体、農家のほか、水田を50アール以上保有する農家など、合計421名に案内をした。

出席者数は表のとおり。

地区名	出席者数	
	1回目	2回目
東部学区	15名	12名
英比学区	41名	29名
草木学区	26名	19名
南部学区	26名	23名

問 学区の取り組み内容、今後の基本方針は。

答 地域の特性に合わせて将来のあり方を記述したものであり、基本方針となる。

問 新規就農者数の実績と25年度の予定者は。

答 青年就農給付金を受給する新規就農者は、平成24年度が5名、平成25年度は2名を予定している。

問 農地集積の実績と25年度の予定は。

答 「人・農地プラン」に基づく農地利用集積や新規の資金借入れ実績と予定は、現在のところない。

問 スーパーL資金の金利軽減措置の実績と25年度の予定は。

答 現在のところない。

問 土地改良事業と、「人・農地プラン」の考えは。

答 土地改良事業では、整備される農地の活用について、営農計画を定める必要がある。

「人・農地プラン」では、今後準備委員会と農地の出し手となる農家、担い手農家、JAと行政で協議を進める。

都市計画道路矢高横川線

事業化に取り組む

宮津地区土地改良事業準備予定地区外での道路計画が進んでいない状況である。

土地改良事業準備と並行して道路計画をすすめるべきでは。

問 オアシス大橋東交差点東約150mの延長75m区間が未完成であるが、着工の見通しは。

答 町道2141号線の道路用地の所有者が、昨年12月に確定したので、この用地取得を進める。用地取得後、1年ないし2年で工事を完了し、供用開始する。

オアシス大橋東
未完成箇所



都市計画道路の延伸予定地

問 蟹田川より東約150mが地区外区間である。計画調査を早期実行できないか。

答 家屋の補償等の課題もあるので、宮津土地改良事業の進捗に伴って半田市境までの全体的な事業化の取り組みをする。

問 半田市及び県へ、町としての対応は。

答 県には、平成23年度より事業要望書を提出している。半田市には、阿久比町の事業の進捗に合わせて要望をする。また、土地改良事業の進捗状況は、必要に応じて情報交換を行う。

学校紹介

阿久比中学校

地域との協同と連携

平成25年度阿久比中学校では、愛知県教育委員会から「絆を育む学校づくり推進事業」の委嘱を受け、地域の方々と話し合いの機会を設け、協同で活動を進めています。

●地域の方との懇談会

5月に、町内のボランティア団体の代表の方と、生徒会執行部とが懇談会



地域の方との懇談会

をもちました。

活動への取り組みについて意見を交わすのは初めてで、生徒の表情は真剣そのものでした。

●駅前清掃ボランティア

毎月第1日曜日の早朝、阿久比駅周辺と駅構内のトイレ、階段、通路の清掃を行います。



駅前清掃ボランティア

●彼岸花ボランティア

5月12日、矢勝川の阿久比側の川岸堤防に、1万個の球根の植栽を行いました。

●幼保清掃ボランティア

毎年2月、3年生全員卒園した園で行います。当時からみえる園長先

●老人ホーム訪問活動

夏休みに、演劇部・合唱部の生徒が施設を訪れ、入所者の方々と交流をもっています。

山本和俊副委員長



都築重信委員



渡辺功委員長



沢田栄治委員

竹内一美委員



議会だより編集特別委員会

新メンバーで議会だよりを担当します。議会からの情報発信を一層充実させます。これからも、よろしくお願ひします。

編集後記

次回定例会

9月5日(木) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴をお待ちしています

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX 48-1711

議会事務局へ